学校番号	302

平成 31 年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を創作すること」「音楽を鑑賞すること」の４つの分野を年間通して学びます。年間のうち日本の音楽伝統文化も学びます。
・授業では教科書、ファイル、筆記用具、随時前もって指示のあった時にリコーダーや副教材を持参してください。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやアセスメントシートの内容、記述式・実技の小テスト、実技テスト、個人やグループで取り組む課題やレポートにより評価します。
・例えば『演奏会』が「演奏者」と「聴衆」の２者の関係があって初めて成り立つように（１人だけで演奏しても演奏会にはなりません）、人との関わりや協力により成り立っています。個人の知識・技術を高めるだけでなく、充実した音楽の学習は、音楽を共に学ぶ仲間と共に協働し、互いに感性を高め合いながら、自分らしい表現と音楽を聴く力を身につけます。
・皆さんにとって音楽を好きな気持ちがさらに深まり、音楽が生涯ずっと心の支えとなり、生きていく力の１つとなることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して,生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに,感性を高め，個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし,音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 ワークシート プレゼン発表の準備	授業態度 ワークシート 演奏聴取（実技テスト） 作品提出	授業態度 演奏聴取（実技テスト） 小テスト（筆記・実技） 作品提出	・授業態度 ・ワークシート ・プレゼン発表の内容レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの分野で観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4~7月	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！	【歌唱】 ・ハーモニーレッスン（カノン） ♪何度でも ♪からたちの花 ♪shall we dance？ ＊曲目は生徒の進度に合わせる	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素（言葉のアクセントと音高の関係、調性など）を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	キーボードでコード弾きに挑戦してみよう	【器楽・楽典】 ・コードについて仕組みを知る ・鍵盤楽器を弾く	○	○	○		a:鍵盤楽器の基礎的な奏法に関心をもち、演奏することに主体的に取り組もうとしている。 b:ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 楽典の基礎的な内容を理解し、実際のキーボードのコードを演奏できる。シンプルなコード進行を覚え、組み合わせて演奏、創作が出来る。	観察 ワークシート フラッシュカード式によるコードを演奏する実技試験
	リズムトレーニングによるアンサンブル	【ソルフェージュ】 ・楽譜のリズムを打つ ・リズムを書き取る	○	○			a: 積極的に演奏や書き取りに参加し、創意工夫をして取り組もうとしている。 b:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。演奏しているリズムと楽譜を一致させて、リズム譜を書くことが出来る	観察 小テスト ワークシート 演奏の聴取
7~12月	合唱の歓びを！	【歌唱】 合唱コンクール向けて	○	○	○		a:合唱としての歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:合唱を通して表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 グループワーク ワークシート 演奏の聴取

	鑑賞のステップアップ ～曲の構成を知る～	【鑑賞】 ♪はげ山の一夜 ♪威風堂々	○			○	a:曲の構成（楽章やコード進行）に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽の諸要素と表現の関わりを知覚、感受し、楽曲とその演奏を解釈した、それらの価値を考え、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
12～2月	日本の音階で旋律をつくろう 箏に挑戦！	【器楽】 さくら	○	○	○		a:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 「民謡音階」「都節音階」「律音階」「沖縄音階」から音階を選択し、旋律を創作	○	○	○		a:我が国や郷土の音階の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b:我が国や郷土の音階の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート
	自由研究発表	【自分を音楽で表現する】 ソロまたはアンサンブルで自分たちの演奏会を実施する。	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、ハーモニーを形成する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもってハーモニーを形成するために必要な演奏の技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取